



国際関係法学科

Department of International Relations Law

全国トップクラスの学修・研究環境で

国際関係法と向き合い、グローバルな視野を養う。

国際社会や日本社会が抱える諸問題を法学・政治学の観点から分析し、実践的な解決方法を模索します。本学科は国際関係法分野で全国トップクラスの専任教員数と授業数を有し、幅広いテーマでの学修・研究が可能です。英語をはじめとした外国語教育も大きな柱としており、絶えず変化する世界を舞台に活躍できる人材を育成します。

学びのポイント

- 1** **トップクラスの国際関係法学の科目数で幅広い領域をカバー**
全国でも珍しく、国内法の知識に加えて国際的な視点から法律を学ぶことができます。本学科は国際関係法分野の専任教員数、授業数ともに全国トップクラスです。
- 2** **国際感覚を磨く機会を数多く提供**
変化を続ける国際社会で活躍できる人を育成するために、国際模擬裁判大会や留学プログラムといったグローバルな視点を学べる機会を提供しています。
- 3** **進路や目的に応じて柔軟な選択が可能な専門科目**
法律学科の科目も含め、科目の選択が可能です。さまざまな学問に触れることで、多様な文化を受容し、異文化交流に貢献できる力を養います。

学びのフィールド

グローバルな視点で法律を学ぶ

国際社会で起きるさまざまな問題を法学と政治学の視点から研究・考察し、幅広い視野を身に付けます。

国際関係法学科を構成する2つのコース

国際関係法コース

国際関係の深い理解に基づき、国際社会での問題解決と秩序形成に必要な能力を養う。

国際関係法学科 法務コース

国際弁護士など国際舞台で活躍する法曹を目指す。

リーガルマインドの育成

教員紹介

鵜飼 健史 教授 政治理論(特に民主主義、政治主体、主権)	佐古田 彰 教授 国際法	多田 望 教授 国際取引法、国際民事証拠共助、国際裁判管轄権、貿易金融EDI、国際原子力損害賠償	浅野 壘 准教授 国際協力論、計量政治学
釜谷 真史 教授 国際私法(特に外国判決承認執行、国際私法上の公序、子の奪取に関するハーグ条約)	C.G. ウィンクラー 教授 日本政治史	根岸 陽太 教授 国際法・国際人道法	田村 元彦 准教授 政治学(特に「ローカルにおける公共性」の研究)
小寺 智史 教授 国際法・国際経済法	高柴 優貴子 教授 国際法	山本 健 教授 外交史(戦後ヨーロッパ国際関係史、冷戦史、ヨーロッパ統合史)	

ゼミ紹介 テーマ：政治とイデオロギー



政治とイデオロギーの歴史に学び、AI時代を生き抜く思考力を磨く。

「難しい」という印象を持たれがちな政治ですが、政治を動かしてきたのは人々が生み出すアイデアや思想=イデオロギーであると知ると、身近に感じられるのではないのでしょうか。本ゼミでは、自由主義や保守主義などの政治イデオロギーがなぜ生まれ、社会にいかなる影響を与えたかを歴史的背景にまで遡って探究します。AI技術の進化やSNSの普及で情報が溢れている現代では、提示された答えを鵜呑みにせず、多角的に分析する批判的思考力が不可欠です。そこで、ゼミではグループワークや議論を通じて他者や異文化の視点に触れ、複雑な課題の本質を見抜く力を修得。民主国家に生きる社会人として、自ら考え行動するための基盤を築きます。

法学部国際関係法学科
C.G. ウィンクラー 教授



戦時下のイデオロギーを分析し、公正な眼差しを養う。

本ゼミの特徴は、政治や歴史を複数の視点から分析する点にあります。その中で、私は第二次世界大戦時の日本をテーマに、当時の人々がなぜ戦争を選択したのかを研究中。政治的な情報は思想や見解の偏りが大きく、似た考えばかりを集めると視野が狭くなってしまう可能性があることを先生から学びました。そのため、異なる国やイデオロギーの文献を選び、他国からの評価も含めて多角的に調査するように意識しています。過去を単に批判するのではなく、当時の価値観や空気、人間の弱さや迷いも含めて歴史の実像を捉え直しています。戦争を選ばないために私たちはどんな考え方を持つべきか。事実と柔軟に向き合いながらその答えを探しています。

法学部国際関係法学科 4年
今村 大智 (福岡県・明善高等学校出身)

主なゼミテーマ

- 現代社会と政治学の諸課題
- ディベートで国際家族法を学ぼう！
- 映画を通じて考える、ストーリーとしての国際法
- 社会と映像とメディアを読み解くための入門編
- ディベートで国際取引法・国際民事手続法・国際私法を学ぼう！
- Current International Topics

カリキュラム(一例)

1年次	2年次	3年次	4年次
▶基礎 国際社会の実情を把握し、国際関係法学の基礎を学ぶ。 導入科目を通じて、国際関係法学全体の基礎およびその根幹をなす現代社会の実情を把握・認識します。また、国際関係法学・政治学・法学の基本科目を通じて、法学の中核となる専門的知識を理解します。	▶応用 国際関係法学を国際社会の実情に適用し、複数の視点から分析する。 国際関係法学・政治学の発展科目、専門演習および法律科目を通じて、国際関係法学の高度な知識を修得し、それをを用いて法的思考・解釈を提示します。さらに、国内外の社会の実情を理解し、法的思考・法的解釈を異なる視点から比較します。	▶発展 国際社会の課題を発見・評価し、新たな秩序形成へと能動的に参加する。 国際関係法学・政治学の発展科目および専門演習を通じて、国際関係法学の概念・理論を前提として、先端的な法的問題を理解・解決する力を身に付けます。さらに、この問題の理解・解決を、諸外国の法制度や政治など幅広い見地から行います。	
導入科目 法学概論 基礎演習 法律学習の基礎			
基本科目(国際関係法学系) 国際法 国際ビジネスの法と交渉 国際私法Ⅰ～Ⅱ 国際取引法 国際人権法 国際環境法 国際組織法 国際経済法 International Law	基本科目(政治学系) 政治学原論Ⅰ～Ⅱ 国際政治学 政治理論 政治史Ⅰ～Ⅱ 日本政治論 比較政治学 社会科学総合講座 国際協力論		
発展科目(国際関係法学系) 国際民事手続法 海洋法 宇宙法 国際紛争解決法 国際知的財産法 国際商事仲裁 EU法 Advanced International Law 外国法政Ⅰ～Ⅳ	発展科目(政治学系) 国際関係史 地域研究Ⅰ～Ⅲ 現代政治思想 政治思想史 行政学 地方自治論 計量政治学		
法律科目 憲法Ⅰ～Ⅱ 行政法総論 行政救済法 雇用関係法Ⅰ～Ⅱ 労使関係法 経済法 社会保障法 地方自治と法 租税法 租税手続法 刑法Ⅰ～Ⅱ 刑事手続法(刑事訴訟法) 刑事政策 特別刑法 少年法 民法(総則) 民法(物権) 民法(債権総論) 民法(契約法) 民法(不法行為等) 民法(親族・相続) 会社法Ⅰ～Ⅱ 企業取引法Ⅰ～Ⅲ 金融法Ⅰ～Ⅱ 民事手続法Ⅰ～Ⅲ 知的財産法(概論)(応用) 法哲学Ⅰ～Ⅱ 法制史Ⅰ～Ⅱ 法社会学Ⅰ～Ⅱ			
演習・実務関連科目 専門演習Ⅰ～Ⅲ 特別専門演習 英書講読Ⅰ～Ⅱ 専門外国語ⅠA～ⅠB 専門外国語ⅡA～ⅡB 専門外国語ⅢA～ⅢB 表現技法の基礎 ビジネス実務から見た法学 行政実務から見た法学 インターナショナル・サービス・ラーニング ▲応用法律学(憲法) ▲応用法律学(行政法) ▲応用法律学(刑法) ▲応用法律学(刑事訴訟法) ▲応用法律学(民法) ▲応用法律学(商法) ▲応用法律学(民事訴訟法)			

▲は法務コース登録学生のみ履修可

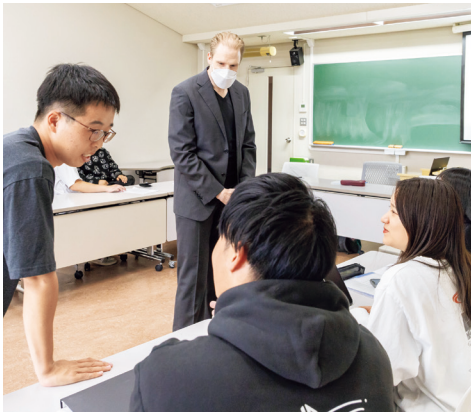
授業紹介

国際経済法

世界貿易機関(WTO)や自由貿易協定(FTA)など国際経済に関する国際法を学びます。第二次トランプ政権が成立して以降、自由貿易を前提とする国際社会に大きな変動がみられます。WTOの紛争処理の中核をなす上級委員会は機能を停止したままです。果たして、自由貿易は今後も国際経済の主軸となりうのでしょうか。この授業では、実際に国家間で生じた紛争事例なども分析しながら、今後の国際経済法のあり方を検討します。

計量政治学

戦争や選挙などの現実で起きている政治現象について、数値データの視点から理解することを目的とした授業です。それらの政治現象がどのようなパターンで、なぜ起きているのかを記述・説明する方法を学習します。統計ソフトウェアを用いて図表を作成することで政治現象を可視化するとともに、回帰分析を通じて自身で立てた仮説を検証します。統計学やデータ操作の事前知識がなくても、課題を通して学修できる授業設計です。



Student's Voice

内定先 外務省



国際法の学びを礎に、世界の平和と秩序作りに貢献する。

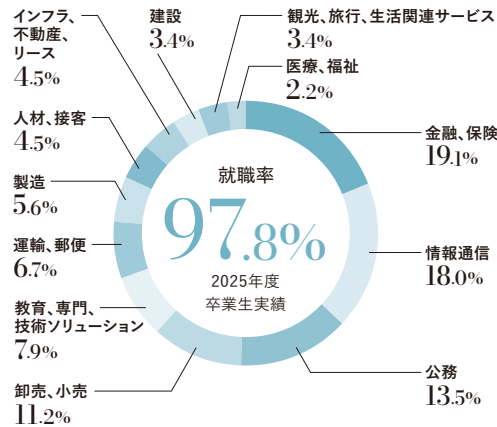
高校時代の留学経験から平和を守る仕事を志し、世界の共通言語である国際法を学ぶため本学科を選びました。西南生や留学生、東京外大生と英語で国際法・国際情勢について議論する双方向型の授業やゼミを通して、意見を論理的に説明する力と国際社会で必要な英語力が鍛えられました。当初は文化交流を通じた平和貢献を考えていましたが、大学での学びの中で緊迫する国際情勢や各地の紛争の構造に触れ、法に基づく秩序作りに貢献したいという思いが強まりました。アウトプットの機会が多く、専門知識と説明する力に加え、自分の核となる軸が身に付いたことがこの大学で学んでよかった点です。卒業後は修得した知識と視座を活かし、外務省で世界の平和構築に貢献します。

法学部国際関係法学科 4年(2025年12月時点)

森山 和奏

(福岡県・西南学院高等学校出身)

就職情報



主な内定先(2025年度卒業生実績)

アクセンチュア／ソフトバンク／YKK／日本総合研究所／日本通運／エイチ・アイ・エス／阪急交通社／星野リゾート／西日本高速道路／アイリスオーヤマ／ダスキン／九州電力／西日本鉄道／西日本鉄道国際物流事業本部／QTnet／日本赤十字社／福岡銀行／西日本シティ銀行／肥後銀行／日本生命保険／外務省専門職員／国家公務員一般職(財務省)／国家公務員一般職(法務省)／国家公務員一般職(厚生労働省)／国家公務員一般職(検察庁)／福岡県福岡市職員／福岡県北九州市職員／大分県職員

取得できる免許状・資格

- 中学校教諭一種(社会)
- 高等学校教諭一種(地理歴史・公民)
- 学校図書館司書教諭
- 博物館学芸員

※各集計値は四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります。

Fukuoka
福岡で学ぶ

メディアや文化拠点とコラボして映像作品や書物に触れる

地元の新聞やテレビ、映画館や書店などとコラボして、映画監督や作家などを招いたイベントを随時実施。2025年度はドラマ「大豆田とわ子と三人の元夫」の佐野亜裕美プロデューサー(関テレ)をお招きしました。



※読書教養講座

World
世界で学ぶ

国境の狭間に置かれた人々に寄り添うための国際法

世界の問題は遠い場所ではなく、身近にも多くあります。根岸陽太ゼミでは、国境の狭間に置かれた人々に寄り添うことを目的に、移民・難民の保護、日本と米国の間に置かれた沖縄の人々の人権などを学びます。

